

# 2025年度 福田学園校友会 総会

日 時：2025年5月25日（日）10:00～16:00（9:30受付開始）

会 場：大阪保健医療大学I号館

対象者：福田学園校友会正会員・準会員に限らず、  
どなたでもご参加いただけます。

参加費：①福田学園校友会正会員・準会員 無料  
②福田学園校友会非会員 500円

## ◆ 記念講演（10:00～11:30）

『いのちに向かい合う仕事とは？』

—在宅ホスピス医からのメッセージ—

講師：内藤 いづみ 先生（ふじ内科クリニック院長）

山梨県よりLIVE 配信



【講師紹介】1981年福島県立医科大学卒業。留学先の英国でホスピスの研修を受け、95年に山梨県甲府市にふじ内科クリニックを開業。在宅ホスピス医の先駆者であり、いのちと向き合いながら患者や家族に寄り添うホスピスケアを実践。ホスピス・在宅ケア研究会やまなし代表、大正大学客員教授、山梨大学講師を兼任し、講演会やテレビ、ラジオ、執筆活動など幅広く活動。中村桂子氏との対談集『人間がいきっているってこういうことかしら』（ポプラ社）ほか著書多数。

## ◆ 総会（11:30～12:00）

## ◆ PT・OT・ST合同部会研修会（13:00～14:30）

『注意障害(半側空間無視を含む)を呈した患者に対するチーム医療  
～POSの共通点と相違～』

講師：藤井 慎太郎 先生(西大和リハビリテーション病院理学療法士)

清水 大輔 先生（兵庫医科大学 作業療法学科 講師）

中谷 謙 先生（森ノ宮医療大学 言語聴覚学科 教授）

## ◆ ビンゴ大会

※ビンゴ大会は福田学園校友会正会員・準会員のみ参加可能となります。

〈申込方法〉

右記QRコードより、Peatixにアクセスしてください。





## 講演・研修会 抄録

### 記念講演 『いのちに向かい合う仕事とは？ —在宅ホスピス医からのメッセージ—』

講師 内藤 いづみ 先生（ふじ内科クリニック院長）

病院のリハビリでは患者さんの全身状態が悪化するとリハビリが中止になり最期までかかわることなく、気にかけていても亡くなったと聞いて知ることも多いと思います。

在宅や施設では、最期まで支えることが求められます。回復・改善が難しい疾患の方や、食べることや意思の疎通が難しくなった場合にどのようなアプローチが出来るのでしょうか。また、ご本人やご家族とどのように関わればよいのでしょうか。経験を積んで答えを見つけた方も、毎日悩んでいるという方もいらっしゃると思います。

記念講演をお願いしている内藤いづみ先生は、英国のホスピスで研修を受け、甲府で在宅ホスピス医としてご活躍中です。

在宅や施設でリハビリを担当する場合の目標設定や進め方の他、ご本人、ご家族、他職種からリハビリに期待されること、これだけはやらないでほしいこと等についてお話いただけるようお願いしています。

施設や在宅で働く方はもちろん、病院勤務の方も、「自宅退院」、「在宅復帰」した方のその後の生活を知ることによって入院中の取り組みが大きく変わり、よりよい関わり方ができるかもしれません。ぜひ、ご参加ください。

### PT・OT・ST合同研修会

#### 『注意障害(半側空間無視を含む)を呈した患者に対するチーム医療 ～POSの共通点と相違～』

講師 藤井 慎太郎 先生、清水 大輔 先生、中谷 謙 先生

脳損傷者が注意障害を呈することは多いものの、そのような患者に対してPT、OT、STの連携は十分でしょうか。チーム医療を実践することはできていますか？

本研修会では各講師から20分程度の講演をいただき、その後はファシリテーターを交えた総合討論を予定しています。第1演者の中谷先生からはSTの立場から「空間認知の多様性」として注意障害の病態等をご講演いただきます。第2演者の藤井先生からはPTの立場で「動作練習時の工夫」についてご講演いただきます。第3演者の清水先生からはOTの立場で「退院後の生活を見据えた取り組み」についてご講演いただきます。

難渋することの多い注意障害ですが、それぞれの臨床知が新たな糸口に繋がるかもしれません。皆さんからの相談・質問についても取り扱っていきたくと考えていますので、皆で盛り上げていきましょう。

ご不明な点がございましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

福田学園校友会 事務局 (koyukai@fukuda.ac.jp)